
















＜成人鼠径ヘルニアパス＞

様

項目	手術前日（自宅）	手術当日	手術後1日目から退院まで
観察		看護師が定期的に訪室し体温、脈拍、血圧、症状を観察します。 手術後は、痛み、傷の出血、腫れ、麻酔の影響による吐き気、頭痛の有無、足の感覚の有無を観察します。   	
安静		手術後はベッド上安静です。 手術6時間後からトイレ歩行ができます。 最初は看護師と一緒に歩きます。   	病院内制限はありません。 
食事	食事、飲み物を止める時間は外来で説明があります。	朝から手術3時間後まで飲んだり食べたりできません。 手術3時間後より水分が摂れます。 その後問題なければ、食事が摂れます。  	朝から普通食 
清潔		状況に応じてシャワー浴ができます。（詳細は看護師にお尋ねください）	次回外来受診までは、シャワー浴にしてください。 お風呂には入れません。 傷のテープはそのままでお湯をかけても大丈夫です。 
排泄		手術後は、ベッド上の排泄になります。 手術6時間後からトイレに行けます。 手術後、6時間経過しても排尿が無い場合は、一時的に排尿用の管を入れることがあります。	
診察 処置	アレルギーの問診表を記入して頂きます。	手術後問題なければ退院できます。	朝、医師が診察を行います。問題が無ければ退院になります。 創には透明なテープが貼ってあります。 自宅に帰って取れてしまった場合、そのまま大丈夫です。 
検査		外来で採血、レントゲン、心電図が済んでいる方は必要ありません。	
薬物 療法		水が飲めたら、点滴を抜きます。 手術後の痛みについては鎮痛剤を使用します。 医師の指示で鎮痛剤と胃薬の内服が処方されます。  	
説明		看護師から入院と手術に関する説明を行います。 薬剤師が薬の説明に伺います。 	
目標		術前オリエンテーションが理解でき、納得して治療が受けられる。 痛み、吐気、不安、疑問などを医療者に伝えられる。 発熱や出血などがなく、術後経過が順調である。	発熱や出血などがなく、術後の経過が順調である。

・症状、状態によっては予定通りいかない場合もあります。

*退院後の問い合わせ先：月～金 8:30～17:00 土 8:30～12時 → 外科外来
それ以外の時間帯は聖隷浜松病院救急外来へ連絡をお願いします。

代表電話：053-474-2222

2001年4月作成（2010年1月改訂）パス委員会承認 聖隷浜松病院A5病棟